

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.

2405

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島文教大学 人間科学部		開催方法	■対面（本学）			
				□オンライン（同時・録画・資料提示）			
				□その他（ ）			
	2. 正式科目名 副題	多文化共生社会論			配当年次	1年	
				受入学年			
	学問分野	番号	25	名称	社会学・社会福祉学		
3. 担当教員名	岩下 康子						
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	後期				
6. 開講期間 曜日・時間	2026年9月26日（土）～2027年1月26日（火） 火曜日 13:10～14:40 ※祝日の振替等のため、9月26日（土）の同時刻にも実施						
7. 基礎知識の有無	<input type="checkbox"/> 「基礎知識を必要とする科目」（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 「基礎知識を必要としない科目」						
8. 募集人数	10人	9. 選考方法	抽選				
10. 科目内容・授業計画	<p>世界における人の移動は増加し、地球規模で自分たちの暮らしを考える必要がある。日本社会も少子高齢化が進む中、外国人労働者や外国からの輸入に頼る生活が常態化している。日本社会は、グローバルな経済活動により豊かさを享受する一方で、貧困・飢餓や地球環境問題などの地球規模の課題を生み出し、地球に暮らす住民として影響を受け、時には消費活動等を通してその加害者にもなっている。</p> <p>‘Think globally, Act locally’（地球的な視野で考え、地域で行動しよう）という言葉のように、地球規模の共生のために、自分が主体としてできることを考え、実践することを狙いとする科目である。</p> <p>具体的な内容を列記する。</p> <p>世界地図を俯瞰して、世界の移民の動き、難民の発生について知り、先進国や近隣国では大量の難民や移民を受け入れた後で、排外主義が生じている現状を知る。一方、日本は、移民という言葉を使わず、期限付きの外国人を受け入れる循環型の人の受け入れを実施する。これについても多くの問題が発生していることを知る。受け入れた外国人に地域社会が何を提供しているのかを探り、今後、日本がさらに多くの外国人を受け入れて、移民社会になっていくことへの展望を持つ。</p>						
11. 試験・評価方法	各回の振り返りシート 60%、レポートの提出 25%、出席 15%で評価する						
12. 別途負担費用	なし						
13. その他特記事項							
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ				<input checked="" type="checkbox"/>	否	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ				<input checked="" type="checkbox"/>	否	